

## <小学校生活>

# 主体的に活動する児童の育成をめざして

— 第一学年「そめあそび」をとおして —

|              |   |   |   |   |
|--------------|---|---|---|---|
| 石垣市立伊野田小学校教諭 | 福 | 重 | 俊 | 乃 |
| 石垣市立富野小学校教諭  | 飛 | 田 | 昌 | 恵 |
| 石垣市立新川小学校教諭  | 新 | 本 | 陽 | 子 |
| 石垣市立新川小学校教諭  | 上 | 地 | ア | ヤ |
| 石垣市立新川小学校教諭  | 奥 | 間 | 由 | 紀 |
| 県立教育センター指導主事 | 仲 | 間 | 公 | 子 |

## I テーマ設定の理由

経済や文化の発展にともない、子どもを取り巻く環境はいろいろな面で大きく変化し、21世紀を生きる子ども達に社会の変化に主体的に対応できる能力や豊かな個性、創造性を身につけさせることが求められている。

生活科は自主的で主体的な態度を育てることを目指しており、具体的な活動や体験に基づく学習は子どもが自分のよさを生かし、自分らしさを存分に発揮させることにつながる。そのため、教師は子どもを理解することはもちろん、子どもの生活圏である家庭や学校・地域を理解し、学習環境を設定していかなければならない。子どもにとって身近な地域が学習の場や対象となるからである。

子どもにとって身近な素材を教材化することは、身の回りの自然や環境に関心を持ち、「自分の住んでいる場所」を愛し、知ろうとし、よりよく生きることにつながると考える。そこで、身近な環境に触れ「〇〇したい」という思いや願いをもって活動や体験ができるように地域素材を見直し、教材化の工夫を図りたい。さらに、子ども一人ひとりの思いや願いを生かすような支援や評価を工夫することにより、友だちのよさや自分の良さに気づき、主体的な活動への意欲につながると考える。

子ども達は、1学期の「花をそだてよう」の中でアサガオの花を使った押し花、たたき染め、色水遊びの学習に興味を示し喜んで活動した。身近な自然を教材化することにより、友だちと協力して植物を採取したり、多種多様な遊びにつなげたりすることができる。そこで、2学期は「あきとあそぼう」の学習のなかで、身近にある草花を使った「そめあそび」をとおして身近な自然に関心を持ち主体的に活動する児童を育成したいと考え、本テーマを設定した。

## <研究の仮説>

地域素材を教材化し、自然への気づきや喜びを感じさせる学習活動を工夫すれば、児童は主体的に活動するであろう。

## <めざす児童像>

- ・身近な人々、社会及び自然に関心を持ち続け、進んで活動できる子
- ・自分の思いや願いを自分なりの方法で表現できる子
- ・体を動かし、五感でものをとらえることができる子
- ・自分の成長（できるようになったこと）や友達のよさに気付くことができる子

## II 研究内容

### 1 主題に対する考え方

「主体的」とは、「ある活動や思考などをなすとき、その主体となつて働きかけるさま、他のものによつて導かれるのではなく、自己の純粋な立場において行うさま。」(広辞苑)とある。

子どもが主体的に活動する学習とは、学習の流れを自分の思いで進める学習である。そのためには、子どもの興味、関心、意欲をかき立て、身近に触れることのできる地域の素材を用意し、主体的に活動や体験に取り組めるような学習活動や環境を構成することが大事である。さらに、「〇〇したい」「早くしたい」という子ども一人一人の思いや願いを大切にしたい支援や評価の工夫が必要である。

### 2 主題追求の手立て

#### (1) 素材研究

##### ① 地域素材とは

地域素材とは、地域の歴史や地形・気象等の自然、農業・漁業などの地場産業、伝統行事・史跡などの伝統文化、家族や地域社会に住む人々、後世に様々な美績を残した先人等をいう。

地域・学校・児童の実態に応じた教育課程を編成し、子ども達が興味関心を持って取り組めるような地域素材を開発、教材化し活用することが大切である。

##### ② 地域素材教材化の視点

地域にある素材を教材化することは、より具体的な事実に基づいて学習を組み立てていく上で重要である。地域素材を授業に取り入れることで単に授業がわかりやすくなるだけでなく、事実即して実証的に物事を見たり、考えたりするという認識の基本的な方法を身につけていくという点でも重要である。

教材化にあたっては、以下の視点が大切である。

- ・指導目標を達成するための十分な内容を持ち、学習効果が期待できるもの。
- ・児童が興味関心を持ち、繰り返し関わるなど生活に密接なもの。
- ・学級全員の児童が具体的・体験的な活動ができるもの。
- ・児童の創意工夫が生かされ、多様で十分な活動ができるもの。
- ・児童の発達段階に即したもので、主体的な取り組みが期待でき、知的認識の芽生えを刺激するもの。
- ・安全性が確保できるもの。

##### ③ 地域素材活用の工夫

地域にある素材を授業の中に取り入れるには、教師は学校の置かれた地域の環境条件を活用し、創意工夫を加えて教師の個性を生かし、主体的に授業を創らなければならない。創意ある個性的な授業を組立てることが、児童の学ぶ意欲や授業への関心を高め、主体的な学習意欲を育てていくのである。

本研究では、サンニンやフクギ、マリーゴールド、シマヤマヒハツ、サトウキビなど子ども達の生活の中で身近な素材を教材化し実践する。

##### ④ 地域素材を使った「そめあそび」

###### ア 染め

繊維の中に入りこんだ植物の染料成分(タンニン・フラボンなど)が金属と結びつくと水に溶けない物質に変わり落ちにくくなる。この働きを利用して繊維を染めることを「植物染色」という。使う植物によって色に微妙な違いがあり、美しい色合いが生まれる。

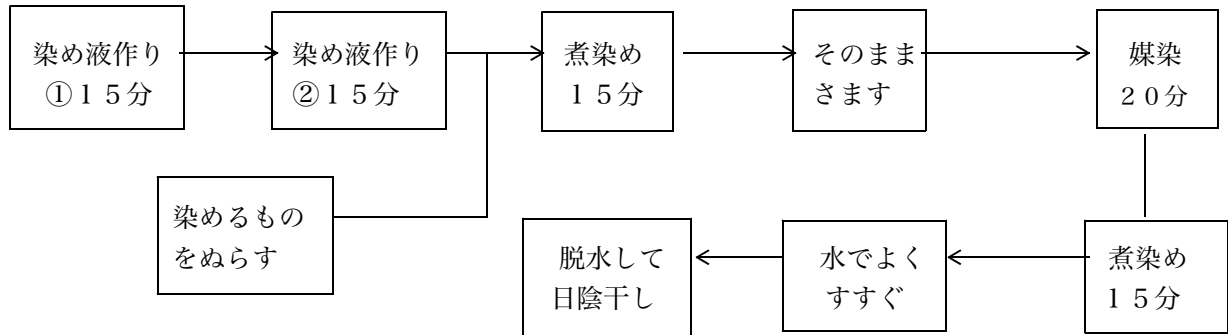
染色の際に使われる金属(水に溶ける金属塩)を「媒染剤」と呼ぶ。伝統的な「泥染め」は、泥の中に含まれる鉄やその他の金属を媒染剤として利用した染色である。その他に木炭や石炭なども媒染剤に使われている。

一般に動物繊維(絹、ウール)の方が植物繊維(木綿、麻)よりもよく染まる。

###### イ 草木染めの基本と媒染剤

- ・基本になる染めの手順

草木染めの基本は、植物の煮だし汁で布や糸を煮染めする。



#### ・媒染剤について

繊維内部に入りこんだ染料を固定させ、化学反応によって発色させるのが媒染の働きである。市販の媒染剤は主に次のものである。

塩化第一鉄・・・・・・黒，灰，茶などに染まる。  
 酢酸銅・・・・・・赤茶，金茶  
 酢酸アルミ・・・・・・明るい茶，黄色系  
 石灰・・・・・・消石灰を水に溶いたうわすみ液。媒染剤としては，材料によって色の変化が楽しめるが繊維を痛める傾向が強いので，注意が必要。  
 （石灰を使ってからは煮染めしない。）

#### ウ 素材

##### ゲットウ（しょうが科） 方言名サンニン

しょうが科の大型の多年生草本。日当たりの良い山野に多く見られる。茎は束生として直立し，高さ2～3mくらいになる。草全体に芳香があり，ムーチャーガーサーとしてよく用いられている。茎の頂から大型の総状花序を下垂して，白に黄及び紅色の筋のある花を密に咲かせる。山野に自生するばかりでなく，各家庭の庭の片隅や校庭でも植えられている。

##### <活用法>

葉……おにぎりを包んで皿代わりとして使われる。

葉に包んだ餅菓子はカビが発生しないことが知られている。

茎……強い繊維質があり，さとうきびの結束剤としても使われる。

種子…ウスターソースやカレーなどの香料などに使われる。

##### フクギ（おとぎりそう科）

海岸近くの屋敷垣として広く利用されている。雌雄異株の亜高木で，幹は直立し高さ4～7m，若い枝は方形で稜がある。葉は卵状楕円形。表面はいくぶんつやがあり，厚革質，先は円頭で対生する。沖縄では古くから生垣の形で植えられ防風林の役目を果たしてきた。その他，防潮林，防火，建築材，染料として使われる。

##### マリーゴールド（きく科）

きく科の一年草。日本では万寿菊，千寿菊などの名で呼ばれている。万寿菊属は西半球の熱帯と亜熱帯に自生する。この属の千寿菊はメキシコ原産である。高さ60～100cmなどになり，あざやかな黄色やオレンジ色の大きな球形の頭花をつける。一重咲きと八重咲きがある。線虫除けの作用があるといわれる。

##### サトウキビ（いね科）

いね科の大型の多年草で砂糖の原料となる重要な作物。カンショともいう。多数の節がある茎に含まれるショ糖をとるために熱帯や亜熱帯諸国で広く栽培されている。茎は高さ3～6m，太さ2～5cmに成長する。小さな穂が円錐花序でつき，その周りを長い絹のような毛が取り囲む。日本では，さとうきびの栽培と製糖工場は沖縄県の主要な産業となっている。ふつう植えてから1～2年数月で収穫期となる。

### ザクロ（ざくろ科）

地中海沿岸原産の低木。高さは3 mぐらいになり根際から不定芽を出す。花は赤色で枝の先に下向きに咲き挿し木でふやせる。食用，薬用。

### ソウシジュ（まめ科）

フィリピン，台湾原産の亜高木で，幹は直立し高さ5～8 mぐらいになる。葉のように見えるのは，本当は葉柄にあたる部分にあたる部分。真の葉は，偶数羽状複数で，発芽してまもなく脱落する。和名は，漢名の相思樹を音読みにしたもの。

### シマヤマヒハツ（とうだいぐさ科）

高さ3～5 mぐらいになる常緑の亜高木。枝は分岐多く，小枝に毛がある。葉は倒卵形，全縁で先はとがり互生する。花は雌雄異株，葉のつけ根から出る5 cmぐらいの総状花房につく。核果は球形，赤熟した後，黒変する。果実は食用。

### シャリンバイ（ばら科）

海岸近くに生える低木。幹は多数分岐して高さ3 mぐらいなる。葉は短い葉柄があり互生する。枝葉が集まって輪生状につき，梅の花に似た花を咲かせるので車輪梅の名がつけられた。葉身は倒卵状楕円形，長さ5 cm内外，先は鈍くとがり，縁は粗い鋸歯縁，または全縁，質は厚く，上面は光沢がある。花期は初夏で，頂生の円錐花序に直径1.5 cmぐらいの白色花を多数つける。

## (2) 環境構成

生活科では，子どもが主体的に学習活動に有効な学習環境を構成することが重要である。

### ①授業を支える環境構成

- ア 教師が前もって構成する
- イ 子どもが学習活動の一環として構成する
- ウ それぞれの学習活動の場で随時構成する

### ②活動のきっかけとなる環境構成

- ア 具体物の提示
- イ 子どもの発見の紹介

### ③活動を広げ，深める環境構成

- ア 活動する場の設定
- イ 活動を広げ，深める道具や材料

### ④活動の意欲を高める環境構成

- ア 小道具の利用
- イ 交流の場の設定

## (3) 地域の人材の活用について

地域には，いろいろな専門の知識をもっている方や生活の中で得た知識のある方が大勢いる。そこで，学校や地域の人材リストを作成し，学習内容に応じて活用することにより，知識を得ることはもちろん，地域の人々との関わりが深まり，魅力的な授業を展開することができる。

## (4) 支援について

支援とは，子ども一人一人の思いや願いを把握し，自己実現できるように援助することである。主体的に活動する子どもを育てるには，教師が一人一人の子どものよさや可能性を発揮できるように支援の方法を工夫していくことが大切である。

### ＜支援の工夫＞

- ・導入時に活動意欲を引き出させるような学習素材との感動的な出合わせ方を工夫する。
- ・活動のイメージを膨らませ，やってみたいという願いや思いを持たせる。
- ・どんなこと（内容）をどのように（方法）学んだらよいか示唆する。
- ・子どもと共に活動する。
- ・自分に合った表現方法についての具体的な見通しを待たせ，一人一人の表現活動が成立できるようにす

るとともに表現活動の場を確保する。

- ・子どもの願いや思いが具体的な活動、体験として実現できるような環境を構成する。
- ・父母や地域の人材を活用する。

#### (5) 評価の工夫

##### ① 評価の観点

＜生活への関心、意欲、態度＞

- ・身近な環境や自分自身に関心を持ち、進んでそれらと関わり楽しく学習や生活をしようとする。

＜活動や体験についての思考、表現＞

- ・具体的な活動や体験について自分なりに考えたり、工夫したりして表現する。

＜身近な環境や自分についての気付き＞

- ・具体的な活動や体験をしながら、自分と身近な社会や自然とのかかわりや自分自身の良さなどについて気付いている。

##### ② 生活科における評価の在り方

ア 具体的な活動や体験の広がりや深まりを評価する。

- ・児童の考えや行動がどのように広がり、深まり、その中で何を学んだかを評価する。

イ 一人一人に即した評価をする。

- ・一人一人の児童が学習対象に対して「どのようにかかわっているか」「かかわっていたか」を捉えることが大切。一人一人の児童の学習課程やその中での考えや思いをしっかりと捉え評価する。

ウ 実践的な態度を評価する。

- ・意欲や関心、態度、行動の変容を長い目で捉え評価する。

##### ③ 評価の方法

- ・短期的な方法と長期的な方法
- ・児童が行なう自己評価、相互評価
- ・教師による自己反省

##### ④ 個に応じた評価の工夫

- ・小单元ごとに規準を決め、観点別の評価基準を作成する。

### Ⅲ 指導の実際

#### 1 单元名 「あきとあそぼう」 (1年 10～11月 18時間取り扱い)

#### 2 单元の目標

- (1) 秋の自然の事物に触れて、季節の変化に気付くことができる。
- (2) 木の葉や木の実などで作品を作り、友達との関わりを広げながら楽しく遊ぶことができる。
- (3) 身近にある草花や実などを使って染める活動をとおして自然と関わりとともに、手作りの楽しさを味わうことができる。

#### 3 单元について

本校は埋立地に建てられた学校で、回りに自然が少ないうえ、子どもたちの遊びの変化により、直接自然と触れ合う機会が少なくなっている。

しかし、子どもたちは1学期の单元「すきすきがっこう」や「なつとあそぼう」をとおして直接自然とのかかわり、草花や生き物などに親しんできた。今では「〇〇をみつけたよ」と休み時間などに発見を報告したり、見つけたものを教室に持ち込んだりするようになった。

本单元では、校庭など身近な自然との触れ合いからバナナ公園へと活動の場を広げ、秋の自然にたっぷりと浸らせ、秋を満喫させるとともに季節の変化を体で感じ取らせたいと考える。また、木の葉や木の実など秋の自然物を使っておもちゃなどを作る活動の中で友達との関わりを広げ深めながら、自然に親しませ、自然の楽しさを味わわせたい。

また、子どもたちは「なつとあそぼう」の単元の中でアサガオの花を摘んで色水遊びをしたり絵を描いたりしたことで花から出る色の不思議さにも目を留めるようになった。そこで、小単元「草木でそめよう」では、自然に親しむ楽しさをより多く味わわせたい。これまであまり気にも留めなかった身近な草花などを使って染める活動をとおして、身近にたくさんの草花があることを再確認し、それらの名前を覚え「染めてみたい。」「こんな花（木）からこんな色の汁が出るなんて不思議だ。」など草花や木の特徴に気付かせたい。

#### 4 指導計画

| 単元       | 時間 | 主な学習活動                                                                                                                      | 教師の支援・留意点                                                                                                                                                                                                                      | 評価の観点                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| あきをみつけよう | 2  | <ul style="list-style-type: none"> <li>校庭のあきみつけをする。</li> <li>校庭探検で見つけたことや気づいたことなどを発表し合う。</li> </ul>                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>木の葉や木の実、虫などがどうなっているか自然に目をむけさせ探検する意欲を高めさせる。</li> <li>友達の発表の良い点を見つけるよう声かけする。</li> </ul>                                                                                                   | <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りの自然の様子を観察することができる。（行動観察）</li> </ul> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>探検で見つけたことや気づいたことを発表できる。（発言分析）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| こうえんへいこう | 8  | <ul style="list-style-type: none"> <li>探検計画を話し合う。</li> <li>バナナ公園を探検する。</li> <li>持ち帰った材料で作品を作る。</li> <li>自慢大会をする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>探検を想像させ、それに適した服装や持ち物を出し合い意欲を高める。</li> <li>友達どうしの結び付きを深めさせ、探検に対する意欲を高めさせる。</li> <li>いろいろな種類（形・色・大きさ）があることに気づかせ一人一人の子に目を向け、用具の使い方などに気をつけさせる。</li> <li>自信をもって発表できるような雰囲気づくりをする。</li> </ul> | <p>〔思考・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えを発表する。（発言分析）</li> </ul> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>きまりを守って探検することができる</li> <li>協力して探検することができる。（行動観察）</li> </ul> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木の葉や木の実を使って簡単なものを楽しんで作ることができる。（行動観察）</li> </ul> <p>〔気づき〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木の葉や木の実、また廃材ですてきなものができると気づくことができる。（発言分析）</li> </ul> <p>〔思考・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分の作品の自慢を発</li> </ul> |

|                                      |   |                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|                                      |   |                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 表することができる。<br>(発言分析)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| く<br>さ<br>き<br>で<br>そ<br>め<br>よ<br>う | 8 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・そめあそびの手順を知り計画を立てる。</li> <li>・材料を採集する。</li> <li>・染め液を作る。</li> <li>・ハンカチに模様をつける。</li> <li>・ハンカチや和紙を染める。</li> <li>・染めた和紙でプレゼントを作る。</li> <li>・活動をとおして体験したことや感じたことを絵や文で表現する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・八重山の伝統的な染め物や身近な草花からも染められることを知らせる。</li> <li>・子どもたちが染め遊びに関心を持つように作品提示の仕方を工夫する。</li> <li>・作品に対する一人一人の思いや願いを大切にし、次時の活動意欲につなげる。</li> <li>・グループで協力して作業が進められるように援助する。</li> <li>・模様がイメージできるよう染めたハンカチを見せながらおり方・絞り方、挟み方を紹介する。</li> <li>・火の扱いは父母の協力を依頼する。</li> <li>・一人一人の子に目を向け、一人でできない子へは、グループで活動させるなど配慮する。</li> <li>・色々な方法で表現できるように配慮する。</li> </ul> | <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・染め手順について話を聞けることができる。<br/>(行動観察)</li> </ul> <p>〔気づき〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・草木の煮汁の色の変化に気づくことができる。<br/>(発言分析・行動観察)</li> </ul> <p>〔思考・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つけたい模様を工夫して作ることができる。<br/>(作品分析)</li> </ul> <p>〔関心・意欲・態度〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達と協力してハンカチや和紙を染めることができる。(行動観察)</li> </ul> <p>〔思考・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりに工夫してプレゼントを作ることができる。<br/>(作品分析・行動観察)</li> </ul> <p>〔思考・表現〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感じたことや体験したことを自分なりの方法で表現することができる<br/>(行動観察・作品分析)</li> </ul> |

## 5 本時の指導

|                                                                                        |                                                                                                                         |                                                                          |                                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 単元名                                                                                    | あきとあそぼう (16 / 18時間)                                                                                                     |                                                                          |                                                                                                     |
| 活動名                                                                                    | 草木でハンカチを染めよう                                                                                                            |                                                                          |                                                                                                     |
| ねらい                                                                                    | 身近にある草花で染める楽しさを味わうことができる                                                                                                |                                                                          |                                                                                                     |
| 指導要領の内容                                                                                | (1) 学校・安全 (2) 家庭・環境 (3) 公共・自然<br>(4) 自然物・遊び (5) 飼育・栽培 (6) 成長                                                            |                                                                          |                                                                                                     |
| 内容選択の視点                                                                                | ① 健康で安全な生活 ⑥ 身近な自然との触れ合い<br>② 身近な人々との接し方 ⑦ 季節の変化と生活との関わり<br>③ 公共物の利用 ⑧ 物の製作<br>④ 生活と消費 ⑨ 自分の成長<br>⑤ 情報の伝達 ⑩ 基本的な生活習慣・技能 |                                                                          |                                                                                                     |
| 予想される児童の活動                                                                             | 教師の支援                                                                                                                   | 環境設定(準備)                                                                 | 評価の観点(方法)                                                                                           |
| 1 前時の活動を思い出す。<br><br>2 めあてを確認する。<br>草木でハンカチを<br>そめよう<br><br>3 作業手順を確認し気をつけることを話し合う。    | ・ 染め液を作った様子を思い出させ、本時の学習に意欲を持たせるようにする。<br><br>・ めあてをつかむことができるようにする。                                                      | ・ 提示用資料<br>・ エプロン<br>・ 三角巾<br><br>・ 染め液<br>・ ハンカチ<br>・ 和紙<br><br>・ 提示用資料 | <関心・意欲・態度><br>・ 前時の活動を喜んで発表しようとする。<br>(発言・行動)<br><br><関心・意欲・態度><br>・ 草木染めへの期待感を持つことができる。<br>(発言・準備) |
| 染める順序 ① 鍋にハンカチを入れる → ② 染める(15分) → ③ 色どめ(5分) → ④ 洗う → ⑤ ゴムを外す → ⑥ 乾かす                   |                                                                                                                         |                                                                          |                                                                                                     |
| ・ グループで協力する<br>・ 安全に気をつける。<br>・ 最後までがんばる。<br><br>4 ハンカチを染める。<br>・ 作業を進めながら、和紙の折り染めをする。 | ・ 活動するときの約束は子どもから出させるようにする<br>・ 火の取り扱いは父母の協力を依頼する。<br>・ 和紙の折り染めは、朝の会などを利用して和紙を折り畳ませておく。                                 | ・ カセットコンロ<br>・ バット<br>・ 和紙<br>・ ハンカチ<br>・ ハンカチを干すためのひも又はロープ<br>・ 洗濯ばさみ   | <関心・意欲・態度><br>・ 協力して染めることができる。 (行動観察)<br><br><思考・表現><br>・ 自分なりの作品を作ることができる。 (作品分析)                  |
| 5 できた作品を紹介する。<br>6 後かたづけをする。                                                           | ・ みんなで使う用具の片付け方をするように声かけをする。                                                                                            |                                                                          |                                                                                                     |

#### IV まとめと今後の課題

##### 1 成果

- ・草花への関心が高まり，身近な環境から見つけたり調べたりするようになった。
- ・そめあそびをすることにより，身近な草花に愛着をもつようになった。
- ・いろいろな草花で，そめられることに気づいた。
- ・導入時に八重山の伝統的な染め糸（ミンサー織り）を見せることにより「自分たちも染めてみたい。」という思いがわき，最後まで主体的に活動する姿がみられた。
- ・そめあそびの活動をとおしていくなかで父母や地域の人々の協力が得られ，染めへの関心が広まった。

##### 2 課題

- ・媒染剤の選定と確保
- ・新教育課程へむけた年間指導計画の見直しと作成



#### 〈主な参考文献〉

|       |                   |
|-------|-------------------|
| 加藤國男著 | 「草木の染色工房」         |
| 池原直樹著 | 「沖縄植物野外活用図鑑」      |
| 船附初江他 | 「平成10年度共同研究実践事例集」 |

|           |      |
|-----------|------|
| グラフ社      | 1995 |
| 新星図書出版    | 1984 |
| 沖縄県教育センター | 1999 |